

【申込者数(保育ニーズ)算定の考え方】

作成対象:全市区町村

- 毎年度、前年度までの見込みと実績を比較し、乖離が生じている場合には、その要因を精査・分析し、必要に応じて推計方法の見直しを行うこと。
- 各市町村の実情に応じた適切な方法に基づき、算定すること。

	申込者数（保育ニーズ）の算定式		算定式に用いた要素の推計方法
算定式	(算定式の例) 就学前児童数×申込率		(文例) ○就学前児童数 ・令和○年○月時点の人口推計を使用 ・過去○年の就学前児童数の増加・減少率の平均を使用 ○申込率 ・令和○年○月に実施したニーズ調査により見込んだ申込率を使用 ・過去○年の申込率の増加・減少率の平均を使用
	0歳児	申込者数= 0歳児児童数（推計値）×見込申込率	(児童数) 国立社会保障・人口問題研究所の日本の地域別将来推計人口を基に推計 (見込申込率) 令和6年度の学齢別の申込率を見込申込率として使用した。
	1・2歳児	申込者数= 1・2歳児児童数（推計値）×見込申込率	(児童数) 第3期米子市子ども・子育て支援事業計画の統計数値を使用 (見込申込率) 令和6年度の学齢別の申込率を、女性就業率の向上等を加味して、3～5%程度高めの値を見込申込率として使用した。
	3歳以上児	申込者数= 3歳以上児児童数（推計値）×見込申込率	(児童数) 第3期米子市子ども・子育て支援事業計画の統計数値を使用 (見込申込率) 令和6年度の学齢別の申込率を、女性就業率の向上等を加味して、3～5%程度高めの値を見込申込率として使用した。
加味する要素	要素の有無	無し	ーブルダウン選択してください。
	要素の説明	(例) ①大規模マンションの建設 令和○年に○○駅前(○○区域)に○○戸規模のマンションが完成予定で、就学前児童数が○○人増加する見込みのため、令和○年以降の就学前児童数に加味した。 ②宅地開発 ○○区域において子育て世帯・共働き世帯の流入が増加しているため、令和○年以降の就学前児童数に加味した。 ③女性就業率の上昇 ○○調査結果に基づき女性就業率の伸び率が今後上昇すると見込んでいるため、申込者数の過去3年平均の伸び率に+○%した。	

2. 期間中における整備内容及び定員増減の予定

作成対象:全市区町村

- 「1. 令和7年度以降の保育需要と提供体制の利用定員数（整備量）」にて計画した整備内容及び定員増減の予定を以下に記載すること。※過年度（令和7年度）のみの整備内容は記入不要。
- 令和8年度の就学前教育・保育施設等整備交付金の協議や保育所等改修費等支援事業の交付申請にあたっては、以下に記載する整備・改修予定の施設と整合をとること（実施計画の採択が不要かつ定員の増減が生じない整備等は記載不要とする）。

<集計表（自動転記）>

以下の①及び②で記載した詳細について、0歳児、1・2歳児、3歳以上児における令和8年度以降の定員増加を図る施設及び定員減少を図る施設の内訳を記入すること。
「1. 令和7年度以降の保育需要と提供体制」における利用定員数の前年度比と「2. 期間中における整備内容及び定員増減の予定」における各年度の「定員増減数（差引合計）」は一致させること（詳細は印刷範囲外右記の留意事項を参照）。

	定員増加を図る施設	定員減少を図る施設	定員増減数 (差引合計)	検算用 (「1. 令和7年度以降の保育 需要と提供体制」の利用定員 数(整備量)の前年度比)	エラーチェック (※セルにおいて、エラーが 生じた場合は、必ず右記の注 留意事項をご確認いただき、 エラーが生じていない状態で ご提出ください。)
令和7年度					
令和8年度	6.0	-110.0	-104.0	-104.0	○
0歳児	0.0	-22.0	-22.0	-22.0	○
1・2歳児	6.0	-51.0	-45.0	-45.0	○
3歳以上児	0.0	-37.0	-37.0	-37.0	○
令和9年度	0.0	0.0	0.0	0.0	○
0歳児	0.0	0.0	0.0	0.0	○
1・2歳児	0.0	0.0	0.0	0.0	○
3歳以上児	0.0	0.0	0.0	0.0	○
令和10年度	0.0	-90.0	-90.0	-90.0	○
0歳児	0.0	0.0	0.0	0.0	○
1・2歳児	0.0	-20.0	-20.0	-20.0	○
3歳以上児	0.0	-70.0	-70.0	-70.0	○

<表①就学前教育・保育施設等整備交付金の協議や保育所等改修費等支援事業の交付申請を行う場合（定員変更を伴う整備及び定員変更を伴わないが「人口減少対策」の採択による財政支援を受けようとしている整備に限る）>

鳥取県	施設名称(a)	施設種別(b)	整備区分(c)	定員増減数(数のみ)(d)	(d)のうち 0歳児(e)	(d)のうち 1・2歳児(f)	(d)のうち 3歳以上児(g)	整備年度(h) 令和8年度(i)	整備年度(h) 令和9年度(j)	整備年度(h) 令和10年度(k)	定員増減が発生する年度(l)	活用事業(m)	実施区域(n)	
米子市	〇〇園 (補助金等の申請書類における名称と異なること。令和9年度以降は未定も可とする)	認定こども園 (令和9年度以降は未定も可とする)	その他定員変更を伴う整備	-5		-10	15	-10	該当する場合は「〇」を選択 (令和8年度整備を行う場合には、該当する年度の年度について「〇」を選択すること)	該当する場合は「〇」を選択 (令和9年度整備を行う場合には、該当する年度の年度について「〇」を選択すること)	該当する場合は「〇」を選択 (令和10年度整備を行う場合には、該当する年度の年度について「〇」を選択すること)	令和10年度 (例えば、令和4年2月～令和4年4月1日までに定員増減が発生する場合は「令和9年度」、令和4年2月～令和4年4月1日に定員増減が発生する場合は「令和10年度」を選択すること。詳細は右記の留意事項を参照。)	保育所等改修費等支援事業 (令和9年度以降は未定も可とする)	全域 複数区域名
No.1	西・ねむの木統合園	認定こども園	その他定員変更を伴う整備	-64		-15	-41	-8	〇			令和8年度	就学前教育・保育施設整備交付金	全域

<表②①以外の定員増減の予定>

	施設名称(a)	施設種別(b)	実施内容(c)	定員増減数(数のみ)(d)	(d)のうち 0歳児(e)	(d)のうち 1・2歳児(f)	(d)のうち 3歳以上児(g)	実施内容(c)を行う年度(h)	定員増減が発生する年度(i)	(c)の具体的な内容と理由(j)
鳥取県	△△保育所 (未定も可とする)	保育所 (令和9年度以降は未定も可とする。自由記述)	閉園	-10		-5	5	令和8年度	令和9年度 (例えば、令和4年2月～令和4年4月1日までに定員増減が発生する場合は「令和9年度」、令和4年2月～令和4年4月1日に定員増減が発生する場合は「令和10年度」を選択すること。詳細は右記の留意事項を参照。)	児童数の減少により閉園
米子市	〇〇保育所 (未定も可とする)	保育所 (令和9年度以降は未定も可とする。自由記述)	定員変更	0	7	0	0	令和8年度	令和8年度 (同上の通り)	0歳児の受け皿拡大のため3歳以上児を縮小
No.1	わかば園	保育所	定員変更（整備を行わずに定員のみ変更する場合）	-10	-1	6		令和8年度	令和8年度	児童数減少に伴い定員を減少
No.2	仁慈保幼園	認定こども園	定員変更（整備を行わずに定員のみ変更する場合）	-30	-6	-10		令和8年度	令和8年度	児童数減少に伴い定員を減少
No.3	南保育園	保育所	閉園	-90	0	-20		令和10年度	令和10年度	児童数の減少による閉園
No.4				0						
No.5				0						
No.6				0						
No.7				0						
No.8				0						
No.9				0						
No.10				0						
No.11				0						
No.12				0						
No.13				0						
No.14				0						
No.15				0						
No.16				0						
No.17				0						
No.18				0						
No.19				0						
No.20				0						
No.21				0						
No.22				0						
No.23				0						
No.24				0						
No.25				0						
No.26				0						
No.27				0						
No.28				0						
No.29				0						
No.30				0						
No.31				0						
No.32				0						
No.33				0						
No.34				0						
No.35				0						
No.36				0						
No.37				0						
No.38				0						
No.39				0						
No.40				0						
No.41				0						
No.42				0						
No.43				0						
No.44				0						
No.45				0						
No.46				0						
No.47				0						
No.48				0						
No.49				0						
No.50				0						